

プロフィール

## アダム・ロウ

レーザー技術と特注のツールで、美術作品や文化財の複製をつくれるとしたら……。ロウの会社では、それを実現し、オリジナルの保護に貢献している。

文 マシュー・スタージス

写真 ベン・ロバーツ

時計の針が午後5時をまわる頃、パツァーディオが16世紀に改修した、ヴェネチアのサン・ジョルジョ・マッジョーレ聖堂の食堂の西窓から、傾いた日が差し込む。200年もの間、沈みゆく太陽は、広漠として飾り気のない室内を照らし続けてきた。とはいえ、ずっとそうだったわけではない。1563年、イタリアの画家パオロ・ヴェロネーゼが、広間の奥壁上部に、傑作「カナの婚礼」を描いた。聖書の一場面で、盛大に繰り広げられる祝宴を描写した、壮大な作品だ。この絵画は、18世紀末、多くのイタリア芸術作品と共に、ナポレオンによって収奪され、ルーヴルへ運ばれた。その後、ナポレオンがワテルローの戦いに敗れ失脚すると、美術品の多くが返還されたが、「カナの婚礼」は



古代イラクの都市ニムルドで、アッシュールナツィルハル2世の宮殿の謁見の間を守っていた人頭有翼獅子像の複製の傍らに立つアダム・ロウ。マドリッドを拠点とするファクタム・アルテのアトリエからは、こうした作品が次々と飛び立っていく。

